

平成 18 年 2 月期 国内電信級陸上特殊無線技士 試験問題

法 規 12 問 30 分

法 規 (1)

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入(マーク)してください。

〔1〕 免許人が無線設備の設置場所を変更しようとする
ときの手続は、次のどれか。

1. あらかじめ許可を受ける。
2. 直ちにその旨を報告する。
3. あらかじめ指示を受ける。
4. 直ちにその旨を届け出る。

〔4〕 無線従事者の免許を取り消されることがある場合
は、次のどれか。

1. 免許証を失ったとき。
2. 日本の国籍を有しない者となったとき。
3. 電波法に基づく処分に違反したとき。
4. 引き続き6箇月以上無線設備の操作を行わなかったとき。

〔2〕 無線従事者が免許証の訂正を受けなければならないのは、どの場合か、正しいものを次のうちから選べ。

1. 住所に変更を生じたとき。
2. 本籍地に変更を生じたとき。
3. 他の無線従事者の資格を取得したとき。
4. 氏名に変更を生じたとき。

〔5〕 電波法の規定により、無線局の免許人又は登録人は、無線従事者を選任又は解任したときは、どの手続をとらなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 2週間以内にその旨を届け出る。
2. 遅滞なくその旨を届け出る。
3. 速やかに総務大臣の承認を受ける。
4. 1箇月以内にその旨を報告する。

〔3〕 免許人(包括免許人を除く。)が不正な手段により無線設備の変更の工事の許可を受けたとき、その無線局についてどの処分を受けることがあるか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 運用の停止
2. 周波数の制限
3. 免許の取消し
4. 運用許容時間の制限

〔6〕 固定局の免許状は、掲示を困難とする場合を除き、次のどの箇所に掲げておかなければならないか。

1. 主たる送信装置のある場所の見やすい箇所
2. 受信装置のある場所の見やすい箇所
3. 通信室内の見やすい箇所
4. 無線局のある事務所の見やすい箇所

法 規 (2)

〔7〕 無線局を運用する場合において、無線設備の設置場所は、遭難通信を行う場合を除き、次のどれに記載されたところによらなければならないか。

1. 無線局事項書
2. 免許状又は登録状
3. 無線局免許申請書
4. 免許証

〔8〕 空中線電力 50 ワットの固定局の無線設備を使用して呼出しを行う場合において、確実に連絡の設定ができると認められるときの呼出しは、次のどれによることができるか。

- | | |
|-----------------|------|
| 1. (1) 相手局の呼出符号 | 3回以下 |
| (2) DE | 1回 |
| 2. (1) DE | 1回 |
| (2) 自局の呼出符号 | 3回以下 |
| 3. 自局の呼出符号 | 3回以下 |
| 4. 相手局の呼出符号 | 3回以下 |

〔9〕 無線局を運用する場合において、空中線電力は、遭難通信を行う場合を除き、次のどれによらなければならないか。

1. 免許状又は登録状に記載されたものの範囲内で通信を行うため必要最小のもの
2. 免許状又は登録状に記載されたものの範囲内で通信を行うため必要最大のもの
3. 通信の相手方となる無線局が要求するもの
4. 無線局免許申請書に記載したもの

〔10〕 無線局が相手局を呼び出そうとする場合（遭難通信等を行う場合を除く。）において、他の通信に混信を与えるおそれがあるときは、次のどれによらなければならないか。

1. 自局の行おうとする通信が急を要する内容のものであれば、直ちに呼出しを行う。
2. 現に通信を行っている他の無線局の通信に対する混信の程度を確かめてから呼出しを行う。
3. その通信が終了した後に呼出しを行う。
4. 5分間以上待つて呼出しを行う。

〔11〕 無線電信通信の手送りによる和文の通報の送信速度の標準は、無線局運用規則では、1分間について何字と規定されているか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 50字
2. 60字
3. 75字
4. 85字

〔12〕 無線電信通信において、応答に際して直ちに通報を受信しようとするとき、応答事項の次に送信する略符号は、次のどれか。

1. K
2. R
3. OK
4. RPT